

幼小中一貫校の開校に向けて シリーズ⑦



「福部未来学園（仮称）」の学園歌歌詞・学園章の「公募」に向けて



現在の校章（左から順に福部幼稚園、小学校、中学校）

前回のこのコーナーで、「福部未来学園（仮称）」の学園歌・学園章の公募について紹介しました。9月25日（金）から10月31日（土）の期間、応募要領にもとづいて公募する予定です。

学園章の公募にあたり、現在の幼稚園、小学校、中学校の「校章」について触れておきたいと思います。小学校は昭和19（1944）年に、中学校は昭和22（1947）年にそれぞれ「福部」の名で開校し、以下のような校章を制定しています。その後、昭和50（1975）年9月に幼稚園が設置され、幼稚園の園章が制定されました。

校章をかたどる葉は檜^{かしの}の葉であり、その葉が3枚重なってできています。檜は高く成長するにつれて幹を太くし、葉も豊かになっていきます。葉は冬になっても枯れることはありません。「豊かに、健やかに、たくましく育てほしい」…そんな願いが感じられます。3枚の葉には、福部小学校が開校した際に合併した「服部」「元塩見」「福田」の3小学校の思いも込められています。その真ん中には福部（HUKUBE）の「H」があります。現在「福部」は「FUKUBE」と標記しますが、校章制定時は日本式ローマ字表記が使用されています。その上に、幼稚園は「幼」、小学校は「小」、中学校は「中」の文字が描かれています。共通したデザインを使用しているあたりに、福部地域の方々が以前より、幼小中の学校園に対する強い思いを持っておられたことを感じ取ることができます。

平成28年4月には新たな「幼小中一貫校」が開校します。校章に込められた福部地域の方々の「思い」や「願い」を継承しつつ、ふるさとの「未来」を拓き、創造する福部の宝を育てる学校づくりをさらに進めていきたいものです。